

経営健全化計画の平成23年度実施状況をお知らせします。

経営健全化計画の平成23年度実施状況

山口県美祢市
観光事業特別会計

1 計画と具体的な措置の状況

(1) 料金その他の収入に関すること

① 効果的、積極的な広告宣伝、観光キャンペーンの展開

効果的な広告宣伝として、電照看板2件（山口宇部空港・JR新山口駅）ポスター掲示1件（山口宇部空港）、高速道路SA・PAへのチラシの設置（岡山～熊本間）12ヶ所。新聞・雑誌等への広告掲載27件及びインターネットによる情報発信の実施。

また、新たな観光戦略として、テレビ・ラジオCM(スポット)や雑誌、その他効果が見込める媒体を中心に活用し、近県及び九州地域へ向け本市の自然景観や歴史、文化、イベント、特産品等の様々な観光の魅力を総合的にPRする戦略的観光情報発信の企画及び実施を広告代理店へ委託。各種媒体社参加によるプレスツアーの実施による記事化5件。プレスリリース活動による新聞・雑誌・フリーペーパーへの記事掲載11件。本市独自の15秒CMを制作し、北部九州及び山口地域へのテレビスポット放映69本。情報番組への出演(テレビ3件、ラジオ2件)。各種媒体への記事下広告掲載(新聞1件、広報誌1件、小学生新聞1件)等を実施するほか、広告代理店の経験・ノウハウを駆使した広告宣伝並びに観光PR活動を戦略的に実施した。

観光キャンペーン活動として、山口県・山口県観光連盟等各種団体と連携し、神戸市、名古屋市、大阪市で実施した。また、東京日本橋にあるアンテナショップおいでませ山口館にて「交流拠点都市みねまるごとフェア」を1週間開催し、観光・物産を含め本市のPRを行った。

② 広域的かつ継続的な修学旅行等の団体客誘致活動の展開

山口県・山口県体験型旅行推進協議会と連携し、現在の関西地区での修学旅行の実態及び要望を把握し、今後の修学旅行誘致を繋げていくことを目的とし、関西地域の教育委員会及び旅行代理店等合わせて19団体を訪問。また、2014年に「東大寺サミット」が本市で開催予定となっていることを見据え、奈良県への修学旅行誘致を美祢市観光協会と連携し実施。奈良県内の教育委員会、小学校及び旅行業者合わせて68ヶ所を訪問。

また、山口県・国際観光推進協議会と連携し、東アジア（中国・台湾・韓国）に対し、現地での観光商談会や国内での情報発信会に参加し、観光情報発信や現地ニーズの把握を行い、海外からの観光客へ向けて誘致活動を行った。

③ 施設ごとの特性を活かしたサービスの充実や積極的な情報発信等

従来の整った環境での観る観光から体験型観光のニーズの高さへ対応した秋芳洞冒険コース・闇のロマン探検、景清洞探検コース及び新たな体験メニューとして長登銅山文化交流館の鑄造体験などの情報を積極的に発信した。

(2) 経費の削減に関すること

① 民間委託の推進

秋芳洞案内業務については、可能な限り早い時点で民間委託することとしているが、現在適当な団体が無いため現状を維持しているが、引き続き、委託先及びその方法等の検討を行っている。

② 職員数の削減と臨時・委託職員の勤務の見直し

平成23年度においては、施設管理係を廃し総務系の業務とし、業務1係（秋芳洞業務）の職員を6名減、業務2係（大正洞・景清洞業務）の職員を1名減、業務3係（養鱒場業務）の職員を1名減とし、その不足分を委託職員により対応した。

③ 稼働率に応じた施設の営業時期等の見直し

トロン温泉について、営業時間を1時間短縮し、閑散期の入浴施設の一部を閉鎖する。また、休業日についても見直しを行う。

④ 指定管理者制度の導入の拡大や見直し

指定管理者制度を導入している秋吉台家族旅行村について、指定期間が平成23年度で満了するため、平成24年度からは、類似施設である秋吉台リフレッシュパークとの一体管理による指定管理者制度の導入の準備を進めていたが、現行のまま1年延期し、実施は、平成25年度からの見込みとなった。

2 資金不足額解消の状況

年度 区分	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)
当初計画 A		159,138	250,215	264,543	245,284	261,396	132,072
解消実績額 B		221,882	184,998	219,420	—	—	—
現在計画 C		—	—	—	245,284	261,396	134,545
B-A又はC-A		62,744	-65,217	0	0	0	2,473
資金不足額	1,312,648	1,090,766	905,768	641,225	395,941	134,545	—

3 資金不足比率の状況

単位：%

年度 区分	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	備考
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値	
資金不足比率	169.5	141.1	135.2	113.1	128.7	77.8	93.2	49.5	16.6	—	国体効果が計画より下回ったため

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

(1) 美祢市総合観光振興計画での位置付け

平成22年度に美祢市総合観光振興計画を策定しており、平成26年度までに優先的に実施する重点プロジェクト9項目を定め、振興策と経営健全化を実施して行くこととしている。

(2) 施設のあり方や経営形態の将来的な方針

養鱒場について、指定管理の導入の検討を行ったが、専門知識を要する養殖といった観点、現在の経営形態から、指定管理の導入は困難な状況である。このため、販路拡大や釣り堀での使用料収入の増加を目指した取り組みを行っている。

また、施設が老朽化しているため、安全の確保はもとより、視覚的に不快感を与える箇所について、改修を行い、観光施設のイメージアップの取り組みを行っている。

(3) その他

平成22年度実施の秋芳洞内照明改修事業（LED化）により、秋芳洞に係る電気料金が約14%削減できた。また、事務機器の更新による消耗品費の削減や、設備改修による上下水使用料の削減を行った。

観光客の安全確保のため、全従業員の82%が普通救命講習を修了し、平成23年9月9日にAED設置救急ステーションの認定を受け、観光客の安全確保に努めている。

また、経営管理能力の向上のため、研修セミナーに積極的に職員を派遣し、人材育成に努めている。また、接客研修を充実させ、来客の満足度を高める取組を行っている。